

今年度もお世話になりました。ありがとうございました。

宮崎県社会教育委員連絡協議会 会長 森山 喜代香

県内各地で桜もほころび、春本番を感じさせるよい季節となりました。

さて、今年度、本協議会では、宮崎県社会教育委員研究大会を、「子どもと本をつなぐ みやざき読書ネットワークフォーラム」と合同開催し、1049名の参加を得、地域ぐるみで行う読書活動による新たな地域住民の絆づくりについて認識を深めることができました。ご参加いただいた委員の皆様、本当にありがとうございました。

また、各地区におきまして、社会教育委員の資質の向上を図るために充実した研修や地域活性化のための様々な取組をしていただきましたことに、心から感謝申し上げます。

これまでの気運の高まりを来年度以降ももち続けていただき、県内の社会教育委員が一丸となって、より活発な活動ができるようにしていきたいと思っております。

今後とも、よろしくお願いいたします。



各地区研修報告

北 部

「各市町村の地域教育を活性化させるために」



会長 長谷川 義明

本協議会は、延岡市、日向市、門川町、諸塚村、椎葉村、美郷町、高千穂町の7市町村の社会教育委員で構成され、本年度の会員は65名です。

「社会教育委員として、各市町村の地域教育を活性化させよう！」をテーマとして、年間2回の研修会を開催するとともに、各市町村において社会教育の振興に努めているところです。ここでは、1月に諸塚村で開催した第2回研修会の概要を紹介します。

諸塚村中央公民館を会場とした第2回研修会において、午前は、事例発表として延岡市社会教育指導員の桑畑 拓氏、美郷町青年団代表の山田洋三氏から、子どもの健全育成に係る活動状況をお聴きしました。午後は、諸塚村観光協会事務局次長の田邊 薫氏、諸塚村外国語指導助手のガウン エリザベス アン氏から、「私が見た諸塚村」と題して、諸塚村での暮らしや仕事を通して感じたこと等のお話をお聴きしました。

事例発表者や講師の方々の活動や地域への思いにふれることを通して、参加者それぞれが、社会教育の振興、地域教育の活性化に向けて思いを新たにしました。



北 諸

「ワークショップによる社会教育委員会議」



会長 坂元 和雄

今回は、都城市の研修を紹介します。都城市の社会教育事業及び公民館の運営に関して検討してもらおうと、1月28日（火）、五十市地区公民館で「社会教育委員会議・公民館運営審議会」を開催しました。

今回初めて、ワークショップ形式による「熟議」を取り入れて開催。「今の社会教育に何が求められているか」「市民に親しまれる公立公民館づくりのために何が必要か」「社会教育事業の推進における公立公民館の役割」と3つのテーマに分けて話し合ってもらいました。当日は付箋紙に、現状の洗い出し、理想の状態、有効な手段、行政・公民館が行うべきことなどについてそれぞれの意見を書いてもらい、話し合いを進めてもらいました。

最後に班ごとに発表をしてもらい、「地域人材の発掘と後継者の育成が必要」「地域の核となるコーディネーターの養成を行うべき」「地域の行事や活動に対してアドバイスができるような専門性の高い職員を公民館に配置すべき」などの意見をいただきました。

次回も再度テーマを絞って話し合いを行う予定です。最後に都城市社会教育委員会への提言としてまとめてもらう予定です。





西諸県地区では、平成25年12月6日にえびの市文化センターにて開催した「平成25年度西諸県地区社会教育委員連絡協議会第3回研修会兼西諸県地区公民館ブロック別セミナー」について報告します。

この大会は、社会教育委員及び公民館関係者が一堂に会し（67名参加）、社会教育委員の実践発表や地域の伝統や文化を生かした地域づくりに関する講演を通して、地域課題の解決に関する活動の在り方について理解を深め、リーダーとしての資質の向上を図ることを目的に開催しました。

実践発表では、**小林市社会教育委員の佐藤徹氏**が「**小林市社会教育委員の活動の現状**」と題し、コスモスコ（総合的な学習の時間）で実践されている郷土学習と家庭や地域と連携した活動の在り方等が報告され、参加者にとって大変参考になるものでした。

また、**宮崎市神話・観光ボランティアガイド協議会の岡田勝運氏**をお招きし、「**地域を元気にする神話の魅力**」というテーマで、講演を行いました。地域に伝わる神話には、自然への畏敬の念や人と人とのつながりなどの日本人が古来大切にしてきた精神世界そのものが詰まっているという内容で、今の地域づくりに関するヒントがたくさんちりばめられたものでした。

今後も西諸県地区社会教育委員連絡協議会では、研究主題である「生涯学習の視点を生かした地域の絆づくりのための社会教育委員の活動はどうあればよいか」に沿って、地域の活性化を目指した実践活動を推進していきたいと思えます。



西都・児湯地区社会教育委員連絡協議会では、平成26年2月26日に1市5町の社会教育委員約40名が都農町中央公民館に参集しました。研修会は2部構成で行いました。

第1部では、都農町で地域のためのボランティア活動に勤しんでおられる『**南風パトロール隊**』隊長の**寺原正徳氏**に実践発表をしていただきました。『南風パトロール隊』は都農南小学校区内を中心に朝夕登下校時の見守り活動を行っているボランティア団体です。寺原氏は都農郵便局長を定年退職後、「社会・地域に何か恩返しをしたい」と一念発起し、平成18年から一人で登下校時の見守りを始めたそうです。年々賛同者が集まり、今では、『南風パトロール隊』15名と毎朝毎夕の見守り続けています。はじめは小さかった地域の絆が少しずつでも広がりを見せていく良い実例として大変勉強になりました。

第2部では、会場を**重要文化財赤木家住宅**に移し、**文化財研修**としておこないました。社会教育課の担当者による説明があり、実際に住宅の中に上がりこみ研修を受けました。文化財は一度壊れたり、消滅したりしたら二度と同じものはできない貴重な国民の宝です。赤木家住宅は西都・児湯地域では唯一の重要文化財で、幕末から歴史や生活様式を深く刻み込んだ貴重な資料と言えます。この文化財を地域ぐるみで保護し百年先、二百年先の次世代の子どもたちに残していかなければならないことを学びました。本協議会はこの研修で得た成果を「地域住民のかたい絆づくり」のために活かしていきたいと思えます。



記紀編さん1300年

宮崎は、古事記や日本書紀に描かれた日本発祥にまつわる日向神以上、本協議会はこの研修で得た成果を「地域住民のかたい絆づくり」のために活かしていきたい話の舞台であり、多くの伝説や伝統文化、史跡等が残されています。

平成24年は古事記編さん1300年、また、平成32年は日本書紀編さん1300年という大きな歴史的節目に当たります。

宮崎県では、平成24年から平成32年までの9年間で「記紀編さん1300年記念事業」の期間と定め、「神話のふるさとみやざき温故知新ものがたり」をコンセプトとした多彩な事業を展開中です。

文差する歴史と神話
みやざき発掘100年





「積極的な 社会教育活動の展開」



会長 中島 淳祐

南那珂地区社会教育委員連絡協議会では、社会教育委員の資質向上と社会教育の充実をねらいとして、年間3回の研修会を開催しました。

第1回研修会では、中邑順一郎氏（都城市立有水中学校長、前串間市社会教育委員）を講師に迎え、「学社合流を始めよう」という演題で、社会教育主事としての豊かな経験を踏まえてお話をしていただきました。この講演から、学校教育と社会教育の「連携」や「合流」が難しいのであれば、お互いの領域に足を運ぶことから始める「合流」という考え方を学びました。

第2回研修会では、永友康久氏（宮崎県御池青少年自然の家所長）を講師に迎え、「出合いに生かされ、地域に支えられて」という演題で、中学校長として体験したことを基にお話をしていただきました。台風被害から、中学生がボランティア活動を通して地域との交流が深まった事例を取り上げながら、地域の防災を担う中学生の役割について学びました。

研修視察では、西米良村小川地区を訪問し、「小川作小屋村」の村おこしについて研修させていただきました。今では、平成の桃源郷と言われていますが、地区内の人口減少と高齢化が進み地区存亡の危機感をもったことから、村おこしをスタートさせたということでした。作小屋文化の継承、地域の特性と資源の活用が「小川作小屋」の基本方針ですが、それに加え小川地区が素晴らしいのは、集落住民の自立・自走に向けた住民の絆の強さだと思えます。

本協議会は、これらの学びを「社会教育委員による地域住民のかたい絆づくり」の実現に向けて生かしていきたいと考えています。



「地域コミュニティづくり の再構築」



会長 片野坂 千鶴子

宮崎地区社会教育委員連絡協議会では、地域における新たなふれあい、支え合い、助け合いの場を形成するために「地域コミュニティづくり」をどう再構築していくかなどについて、年間に二回の研修会を実施しています。

第1回研修会は、綾町照葉樹林文化推進専門監の河野耕三氏をお招きして、「綾ユネスコパークに学ぶ」と題して講演をしていただきました。照葉樹林自然生態系の紹介、ユネスコエコパークを含めた綾町の自然生態系を生かした町づくりについてお話を聞き、特に地域の自然・文化に根ざした町づくりが必要なことを実感し、深い感銘を受けました。

第2回研修会は、「不自由で豊かな暮らし」をテーマに、綾わくわくファーム代表取締役社長の浜田倫紀氏に講演をしていただきました。講演を通して、スローフードがその土地に活力を与え、郷土の社会性を高める食品であることを認識させられました。講演後、実際に綾町の食材だけを使用したスローフードランチを会員全員でおいしくいただき、食事は、「済ます」から「過ごす」ということを実感しました。

本年度は綾町を中心に2回の研修会を通して、社会教育委員としての自覚を高めるとともに、お互いの情報交換もでき、「地域づくりについて」話し合いを深めることができました。



ご案内

◇ 九州ブロック社会教育研究大会鹿児島大会

「親子の育ち・学校・地域へのかかわり これからの社会教育を目指して」～燃ゆる思いをかごしまから～

平成26年11月13日（木）～14日（金）

鹿児島市（宝山ホール）

・講演会 ・全4分科会

- ①「親子の育ちへのかかわり」
- ②「学校へのかかわり」
- ③「地域へのかかわり」
- ④「社会教育委員の役割」

宮崎県は、第4分科会の事例発表と助言者を担当します。

◇ 全国社会教育研究大会徳島大会

「夢・絆 阿波からつむぐ新たな社会教育！」

平成26年10月23日（木）～24日（金）

徳島市（アスティ徳島）

- ・講演会
- ・シンポジウム
- ・全5分科会



平成 26 年度の活動計画(予定)

※ 第2回理事会(2/19)の承認事項に、日時や場所など現時点での計画を加えています。

宮崎県社会教育委員研究大会

- 12月19日(金) 13時~16時
- 西都原考古博物館
- ※ 地域文化功労者、社会教育功労者等の表彰式も実施予定
- ※ 講演や発表を実施予定

総会・研修会

- 8月4日(月) 県立図書館
- 内容
 - (1) 総会
役員承認、平成25年度事業実績報告、決算報告並びに監査報告
平成26年度事業計画案、収支予算案
 - (2) 研修会
講演または発表

第1回理事会

- 5月21日(水) 県庁内会議室
- 役員改選、協議(総会議題審議 他)

第2回理事会

- 1月28日(水) 県庁内会議室
- 今年度のまとめ、次年度の計画について

◇ 会計監査

3月18日(水) 県庁内会議室

◇ 地区別研修

各地区の計画により実施

◇ 会報の発行

年3回(9月、12月、3月)

◇ 全国社会教育委員連合表彰

※ 宮崎県社会教育委員研究大会にて表彰

県からのお知らせ

表彰

文科省や県教委、全社教連では、多年にわたり、社会教育の振興に貢献のあった方の顕彰をたたえ表彰しています。

- 社会教育功労者文部科学大臣表彰(10年以上)
- 県社会教育功労者及び優良団体・施設表彰(個人10年、団体5年以上)
- 全国社会教育委員連合表彰(7年以上)



全国社会教育委員連合の伝達表彰(第2回理事会にて、森山会長から黒木弘氏へ)

紹介

年4回の県社会教育委員会議において、「みやざき家庭教育サポートプログラム」の内容について委員の皆様にご検討いただきました。近日中に、「みやざき学び応援ネット」に掲載されます。

「みやざき家庭教育サポートプログラム」の内容

プログラム1	幼児から小学校下学年の子どもをもつ親向け
プログラム2	小学校上学年・中学生の子どもをもつ親向け
プログラム3	将来の親世代(中高生・青年等)向け
プログラム4	祖父母・シニア世代向け
プログラム5	地域住民向け

このプログラムは、親としての学び、親になるための学び、親を支援する学びを推進するために作成されました。今後、県内各地でプログラムを活用した講座を実施しますので、委員の皆様も、ぜひご参加ください。



<編集後記>

この一年間、本当にお世話になりました。特に、「子どもと本をつなぐみやざき読書ネットワークフォーラム」には、県内各地から多くの社会教育委員の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。生涯学習課での社会・家庭教育担当業務を通して、多くの皆様から、人をつなぎ、地域を活性化することの大切さを学ばせていただきました。本当にありがとうございました。本県の社会教育が、さらに発展しますことを心より願っております。今後ともよろしく願いいたします。(N)

発行責任者 宮崎県社会教育委員連絡協議会事務局 (担当:野添)

TEL:0985-26-7245 FAX:0985-26-7342 e-mail:nozoe-kazuhiro@pref.miyazaki.lg.jp

ホームページ: http://www.sun.pref.miyazaki.lg.jp/committee_index.html

